

ご挨拶

役職：吹田市議会副議長・建設委員会委員
今回の9月議会では、市長の提案した副市長らの給与削減案を議会が「否決」し、議会独自の修正案を提案一可決しました。議会と市長が政策を戦わせ、市政を運営していくと言ふのが日本の地方議会の「建て前」ですので、今回の修正は当たり前といえば当たり前ののですが、実はこんなことは異例の事態で、私も議員になって初めて経験したことでした。一般的に地方議会は首長の提案の追認機関となっているのが、多くの議会の実態です。事前の根回しで市長サイドに修正を加えさせることはあっても議会の場で、修正案を提案一可決す

1977年福井県生まれ。
福井県立若狭高校、関西大学文学部、関西大学法科大学院卒業
(法務博士号取得)。
大学時代の海外生活で、「日本の若者の意識を変えなければ、この国将来が危ない」と危機感を抱き、日本の教育改革を目標に政治家を目指す。食品スーパー店長、高校教師を経て、29歳で吹田市議に初当選。現在2期目。予備自衛官。龍馬プロジェクト全国会会長。

後藤恭平
ゴトウキヨウヘイ

ご挨拶

役職：議会運営委員会副委員長・文教市民委員会委員
市民病院の在り方特別委員会委員・企業決算審査特別委員会委員

今定例会では、市長と議員側との対立構造がはっきりしました。市長の打ち出した改革路線に疑問を呈した議員側がはっきりとNO!を突き付けた結果です。議員側もそれぞれ想いがある中、侃侃諤諤と意見をぶつけ合い、議員側がまとめ上げた修正案で議会を通過させました。市長としては先が思いやられる結果だったと思います。

私の思いとしては、市長の行う改革という言葉には賛同しますが、改革の順序や各政策の整合性に疑問を持っています。市長側は一部の限られた人や団体の声だけを聞いて政策を考えている節

1980年10月20日生まれ、吹田市育ち。

吹田市立片山中学・大阪府立摂津高校・大阪工業大学工学部卒業。幼い頃に父と別れ母子家庭で育つ中、様々な思いを持つ。現在はGOTOハウジング代表・後藤土地家屋調査士事務所代表・(株)後藤測量事務所代表取締役・関西大学非常勤講師。真に人々が自立し、支え合える豊かな社会を目指し活動中。

足立ノブカツ
アダチノブカツ

ご挨拶

役職：財政総務委員会委員・都市環境防災対策特別委員会副委員長
議会改革特別委員会委員・決算審査特別委員会委員

今定例会は初の代表質問を担当させていただきました。財政非常事態宣言を掲げ維新プロジェクトと称して職員の給料を削減しつつ市民サービスも削る井上市長。吹田市の財政は他市に比べればよいのですが多数の公共施設を抱え、手厚い福祉施策の維持を考えると、そう遠くない未来、非常に厳しい財政運営を迫られるのは明白です。その中で将来世代に過剰な負担を先送りしないため市民に痛みを伴う財政再建、特に既存のサービスを目に見える形で廃止するというのは勇気のある決断だと考えます。しかし財政を立て直した後のビジョンが全く示されておりません。吹田をどのよ

1985年、大阪市福島区生まれ。
大阪桐蔭中学／高等学校・神戸大学法学部卒・不動産会社勤務。大学卒業直前に神谷宗幣議員・石川前議員と出会いことで政治へのあきらめが払拭され、地方政治から日本の政治が変わると実感する。吹田から日本の政治改革を目指し、25歳で出馬し初当選。

るということは、本当に珍しいケースでしょう。これは私見ですが、今回の修正案可決は議会の市長に対する「好き勝手にはさせないぞ」というメッセージであったろうと思います。

今後、市長としては様々な「アメ」をぶら下げながら、議員の多数派工作をし議会を自分の追認機関とするか、毎回の議会で政策について我々とは々々の議論をするか、という選択肢があります。私は当然後者を希望しますが、市長や他の議員の皆さんはどうなる行動をとられるか?生々しいパワーゲームです。吹田市議会の動きにご注目ください。

【連絡先】吹田市千里山西1-37-40
かみやソウヘイ事務所
TEL : 090-6059-8330 FAX : 06-6385-1239
Mail : info@kamiyasohei.jp



<http://www.kamiyasohei.jp>

があり、それは今回の多くの議案を総合的に勘案すれば誰でもわかるものであり、今回のNO!はその表象だと考えています。

次回の12月の議会からはより多くの市民サービスに関する重要な案件がでてくると思われます。私たち吹田市民にとって、今の生活だけでなく、将来に渡り大きな影響のある市長政策提案です。

これからも私の思いと政策を提言し、市長の政策のチェックをしっかりと全うして参ります。

【連絡先】吹田市西の庄村2-28
ごとうキヨウヘイ事務所
TEL : 06-6380-8802 FAX : 06-6310-8919
Mail : info@goto-kyohei.net

<http://www.goto-kyohei.net>

役職：財政総務委員会委員・都市環境防災対策特別委員会副委員長
議会改革特別委員会委員・決算審査特別委員会委員

うな街にしたいのか、単に数値目標のみを掲げ削減するのでは吹田の魅力は失われてしまします。今回はその点をテーマに質問しましたが、具体的な答弁はいただけませんでした。財政再建のために様々な手法を用いる一方で成長戦略を併せて打つことで魅力的な吹田を作り直していくことが市長の使命であると市長選挙を戦った私ども吹田新選会は考えております。教育の「質」を高めることを提案し、子育て世代や若者が移り住みたくなるような活気ある街づくりを目指して邁進してまいります。

【連絡先】吹田市南金田1-4-11-106
足立ノブカツ事務所
TEL : 06-6339-6839 FAX : 06-6339-6869
Mail : nobukatsu.adachi@gmail.com

<http://www.nobu8.jp>

うな街にしたいのか、単に数値目標のみを掲げ削減するのでは吹田の魅力は失われてしまします。今回はその点をテーマに質問しましたが、具体的な答弁はいただけませんでした。財政再建のために様々な手法を用いる一方で成長戦略を併せて打つことで魅力的な吹田を作り直していくことが市長の使命であると市長選挙を戦った私ども吹田新選会は考えております。教育の「質」を高めることを提案し、子育て世代や若者が移り住みたくなるような活気ある街づくりを目指して邁進してまいります。

うな街にしたいのか、単に数値目標のみを掲げ削減するのでは吹田の魅力は失われてしまします。今回はその点をテーマに質問しましたが、具体的な答弁はいただけませんでした。財政再建のために様々な手法を用いる一方で成長戦略を

代表質問

質問者 足立 将一

Q 市長のビジョンは?

財政健全化の具体的動きに対して市民の反対の声もあがっているが、持続可能な福祉を実現するためのものと理解しているので、私共は大きく反対はしない。しかし削り続けた先のビジョンを示さなければ、今回涙をのんだ受益者や、自らの身を本気で削らんとしている職員に、市民から選ばれた議員として、かける言葉が見当たらない。この行政の維新プロジェクトの先、市長が描いている吹田はどのような街か。未来像について、できるだけ詳しく市長のお考えを聞かせてほしい。

再質問

もう少し具体的に

Q 生活保護への対策について

増加する一方の生活保護への対策に取り組みながらの事業見直しでないと、税金を払う人との公平感が失われる。市の社会保障費や生活保護のあり方への市長の見解は。

再質問

国家の財政状況を見ると全額負担の実施は現実的ではない。国に提言するのであれば地方での現実を訴え、基準等の制度の見直しを提言すべきではないか。

Q 税収増にふるさと納税の活用を

吹田市には現在3000名ほどの職員がいるが、そのうち吹田市に住民票のある職員はどれくらいいるか。財政非常事態であるため、市外在住の正規職員に、吹田市にふるさと納税してもらうことを促すことを提案するが、市長の見解は。

署名活動について

現在様々な署名活動が行われてますが、その正式な意味を把握したうえで慎重な態度で臨んでください。署名活動に法的意味が付されるのは地方自治法で定められた直接請求の場合に限られます。(条例の制定・改廃や議会の解散請求など)それ以外の署名には法的意味はありません。法的根拠のない署名は提出先や取扱いについて定められていないため、どれだけ集めても今の制度の枠組みでは効果を発揮しない恐れが大きいです。

市民の意見として政治に届けられる法的根拠のある声としては、

- ①議員の紹介を経て出される請願 → 請願は議会で審議され可決されれば市長に政治判断させることができる
- ②単独で出せる陳情 → 陳情は市民の意見として議員に配布される

市民の皆様の
請願

→ 市議会議員
(紹介)

→ 議長

→ 議会で採決

→ 可決されれば市長が議会の意見を
尊重して請願の内容に対して処理

個人質問

質問者 後藤 恒平

A (市長)

日本社会全体にとって大変重要な課題であると認識している。本市においても喫緊の課題であり、幅広い観点から取り組んでいく。

再質問

いくら市長の目指す維新プロジェクトが成功しても、子供が減れば将来に持続可能な吹田は残せないのでないか。何か具体的に取り組みを始める計画はないか。

A (市長)

少子化対策は、すべての分野の根幹となる喫緊の最優先課題。吹田市の将来ビジョンに関わる政策組みを、安直に国任せにする市長の姿勢を厳しく批判しました。予算権を持つ市長の今後の積極的な取り組みを、子育て世代を代表して、要望しました。

Q 職員のやる気を削がない公務員改革を!

公務員制度改革には職員との信頼関係を築く対話や、リーダーシップが必要。職員との信頼関係を構築するために市長はどんな方法をとっているのか。具体的に聞きたい。

Q ガンバスタジアムの誘致

ガンバ大阪には吹田市をホームタウンにしてもらいたいと考えている。現在、吹田市誘致への壁となっている建設費や土地の賃料、修繕費等を吹田市の負担も含め検討すべきであり、特に交渉の障害となっている万博機構に対し賃借料軽減の交渉を積極的に行うべきだと考える。吹田市の所見はいかがか。

A (市長)

職員に対し給与の見直し等の必要性や考えを、機会ごとに伝えてきた。

A (市長)

万博機構と協議し前向きに検討したい。

吹田新選会提案意見書（賛成多数で可決）

環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉への参加に慎重な対応を求める意見書

TPPへの参加は、農畜産物を含む物品における関税撤廃により、国内農林水産業に多大な影響があるばかりか、金融、保険、医療、労働など、あらゆる分野で社会システムの再構築を迫られ、国の形そのものが一変する可能性もはらんでいる。

TPPへの参加は東日本大震災により改めて食料安全保障の重要性が注目されている中、食料供給を海外に依存することになるものもある。さらに農林水産業の崩壊により日本の自然豊かな国土を荒廃させるとともに、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではなく、我が国の存亡にかかわるものでありTPPへの参加について慎重な対応を求めるものである。

※意見書とは… 地方自治法第99条において、地方公共団体の公益にかかる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出できることとされています。地方議会から国政へ意見できる一つの手段であると共に、政策に対する各議員の姿勢が明らかになります。